

プレスリリース

オグズ・ハン トルクメニスタン工科大学と 教育・研究における連携強化のための覚書を締結

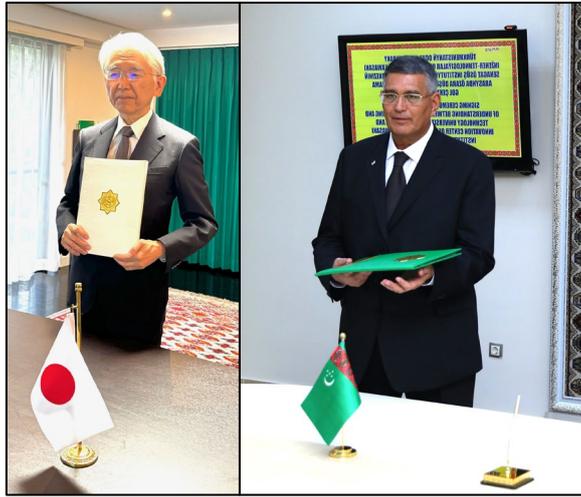
報道関係者 各位

平素は大変お世話になっております。

公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター（センター長：片岡一則、所在地：川崎市川崎区殿町、略称：iCONM）は、6月8日、オグズ・ハン トルクメニスタン工科大学（ETUT）と教育と研究における連携強化に関する覚書を交わしました。同日オンラインで行われた署名式には、同学の G. メジロフ学長がトルクメニスタンから、また iCONM の片岡センター長が、在京トルクメニスタン大使館から出席し、覚書に署名いたしました。両者の関係は、2018年にメジロフ学長が iCONM を訪問したことに始まり、その後、ETUT の学生を研修生として受け入れるなど、ナノ医療に関する知識と技術を学ぶ場として活用頂いています。

ETUT は、トルクメニスタン科学アカデミーの傘下に属し、同国の科学技術政策に深く関与する大学であり、また、日本式の工学教育を取り入れ、英語と日本語で授業を行うという日本とも大変親交の深い大学でもあります。

ナノ医療は、mRNA や核酸医薬といった新しいモダリティにも親和性が高く、いまだ有効な治療薬がない疾患に対して必要最小量の薬剤を組織選択的に送達し、副作用および医療費の低減に貢献できると期待されています。ETUT と iCONM の連携が、世界中でそのような治療を待つ患者さんへの朗報に発展することを私たちは見据えています。



調印後の片岡センター長（左）とメジロフ学長（右）

オズク・ハン トルクメニスタン工科大学 (ETUT) について

以下のサイトをご参照ください。

<https://spap.jst.go.jp/resource/university/4040002.html>

公益財団法人川崎市産業振興財団について

産業の空洞化と需要構造の変化に対処する目的で、川崎市の 100%出捐により昭和 63 年に設立されました。市場開拓、研究開発型企業への脱皮、それを支える技術力の養成、人材の育成、市場ニーズの把握等をより高次を実現するため、川崎市産業振興会館の機能を活用し、地域産業情報の交流促進、研究開発機構の創設による技術の高度化と企業交流、研修会等による創造性豊かな人材の育成、展示事業による販路拡大等の事業を推進し、地域経済の活性化に寄与しています。

<https://www.kawasaki-net.ne.jp/>

ナノ医療イノベーションセンターについて

ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) は、キングスカイフロントにおけるライフサイエンス分野の拠点形成の核となる先導的な施設として、川崎市の依頼により、公益財団法人川崎市産業振興財団が、事業者兼提案者として国の施策を活用し、平成 27 年 4 月より運営を開始しました。有機合成・微細加工から前臨床試験までの研究開発を一気通貫で行うことが可能な最先端の設備と実験機器を備え、産学官・医工連携によるオープンイノベーションを推進することを目的に設計された、世界でも類を見ない非常にユニークな研究施設です。

<https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/>

2024 年 6 月 26 日